

平成26年（ネ）第126号 大飯原発3, 4号機運転差止請求控訴事件

一審原告 松田正 外186名

一審被告 関西電力株式会社

上 申 書

(立石証人及び赤松証人の尋問の必要性)

平成29年6月23日

名古屋高等裁判所金沢支部民事部第1部C1係 御中

一審原告ら訴訟代理人弁護士 島 田 広

同 上 笠 原 一 浩

1 伊方最高裁判決の趣旨と最新の科学的知見に基づく審理の必要性

伊方最高裁判決は、原子力発電所の設置許可処分の違法性判断において、「現在の科学技術水準」に照らして、安全性の調査審議の過程に不合理な点がないかを判断すべきであるとした。

その趣旨は、原子力発電所のもつきわめて高度の危険性に鑑み、裁判所自身が、処分時ではなく訴訟の時点における最新の科学的知見を十分に収集し、これを用いて行政の判断を検証することによってはじめて、原子力災害が「万が一にも起こらないようにする」という原子炉等規制法の趣旨が全うできる、というものと解されるのであり、民事訴訟である本件訴訟においても、十分にその趣旨を生かし、最新の科学的知見を十分に反映した審理がなされるべきである。

この点において、前回期日における島崎証人の尋問は、まさに最新の科学的知見を用いて、一審被告による地盤調査（地下地質向上調査）の不十分さも含めた基準地震動の過小評価を明らかにしたのであり、同証言によって、一審被告による基準地震動の策定及びこれに対する安全審査の過程に重大な欠陥があることが明らかになった。

同証言のうち、入倉・三宅式の適用の誤りに関する指摘と並んで、地盤調査（地下地質向上調査）の不十分さの指摘は、本件原発の安全性に対して、重大な疑問を生じさせるものである。なぜなら、基準地震動の策定において、震源特性、伝播特性、地盤特性（サイト特性）の地域性をそれぞれ考慮したことを根拠に、本件原発においていわゆる「平均像」から大きく外れるような強震動が生じることは考えられないと主張してきた一審被告の主張が、科学的根拠を欠いていることが示されているからである。

したがって、この問題を徹底的に解明することなく、審理を終結することは許されず、可能な限りさらに関連する最新の科学的知見を反映した充実した審理を行うことが求められている。

とりわけ、一審被告が直前になって大部の準備書面を提出したところ、島崎証人の尋問を受けた新規の主張である準備書面（37）においては、裏付けとなる学者の意見書（同尋問を受けて、同尋問を検討して作成されたもの）が存在しない。したがって、かかる主張が科学的根拠を有するか検討するためには、専門家証人に対する尋問が不可欠である。

2 証人立石雅昭の尋問の必要性

証人立石雅昭は、新潟大学名誉教授であり、地質学の専門家として、新潟県中越沖地震後の調査・検討に関与し（原子力安全・保安院による「中越沖地震における原子力施設に関する調査・対策委員会」に新潟県関係者の補佐役として関与）、最近では新潟県の「原子力発電所の安全管理に関する技術委員会」委員及び同委員会「地震、地盤・地質に関する小委員会」委員として、原子力発電所の地盤の問題について豊富な知見を有している。

同人の証言は、①原子力発電所における地盤調査（地下地質向上調査）には、最近の地質学及び地震学において用いられている調査方法に比して、調査範囲（深度）及び精度において著しく劣っていること、②そのためもあって、基準地震動の約4倍もの激しい地震動が柏崎刈羽原発を襲った新潟県中越沖地震につ

いて、一審被告が主張するようにその原因の全容が解明されたわけではないこと、③本件原発に関する地盤調査（地下地質向上調査）は柏崎刈羽原発のそれと比較してもきわめて不十分なものであり、未発見の地下構造により予想を超える大きな地震動が本件原発を襲う危険性は十分にあることを、最新の科学的知見をもとに明らかにするものである。

3 証人赤松純平の尋問の必要性

証人赤松純平は、元京都大学防災研究所助教授であり、本年4月に京都地裁に係属中の同種訴訟において、2通の意見書（甲478、489号証）を提出した地震工学、自然災害科学及び固体惑星地球物理学等の研究者である。

同証人の証言は、一審被告の地盤調査（地下地質向上調査）が最新の科学的知見からいかに立ち遅れた不十分なものであるか、一審被告がただでさえ不十分な調査結果を、さらにゆがめて解釈し基準地震動を過小評価している事実に関する、まさに最新の科学的知見を含むものである。

4 まとめ

以上のとおり、立石証人及び赤松証人のいずれの証言も、島崎証人の証言が提起した本件原発の地盤に関する一審被告の調査・評価の問題点、及びこれに対する安全審査の欠陥を、最新の科学的知見に基づいて明らかにするものであり、伊方最高裁判決の趣旨を生かすためにも、是非とも尋問を実施する必要がある。

以上